



# kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



## vol.39

第43期(2007年10月期)第1四半期号

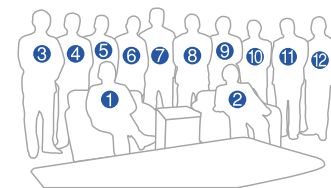
ニュースハイライト●第43期第1四半期財務・業績の概況

株主様からのご質問に答えるQ&Aコーナー●取扱商品のご紹介●株式情報

## 役員のご紹介 カナモトの取締役会および監査役会のメンバーをご紹介します。



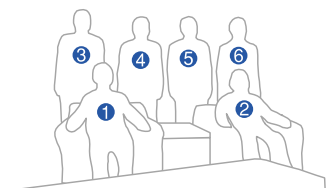
### カナモト取締役会



- ① 金本寛中 ② 卯辰伸人 ③ 磯野浩之
- ④ 成田仁志 ⑤ 平田政一 ⑥ 北方敬一
- ⑦ 金本龍男 ⑧ 金本哲男 ⑨ 長崎学
- ⑩ 佐藤幸夫 ⑪ 川村雄一 ⑫ 袴田美智也



### カナモト監査役会



- ① 奥村敏三 ② 澤田紳六 ③ 金本栄中
- ④ 橋本昭夫 ⑤ 辻清宏 ⑥ 嶽田信知

## 第42回定時株主総会のご報告

去る2007年1月26日、当社本社ビルで第42回定時株主総会を開催し、7議案いずれも満場一致で可決されましたことは既報のとおりです。当日の札幌は最高気温が0を下回る真冬日でしたが、60名もの株主様にご出席いただき、役職員一同、心より感謝しております。


総会開始前には、当社事業のご案内に加えて、工場内でのメンテナンス風景や本社ビル各フロアの様子など、普段なかなかご覧いただけないカナモトの“素顔”を収めた

ビデオ映像を上映させていただきました。

なお、本年度のインターネット議決権行使の状況は、名義人数1.3%(個数1.0%)と、昨年を若干下回る結果に。未だ浸透していない当システムですが、決して難しいものではないです。総会にご参席いただけない株主の皆様におかれましては、次回はぜひお試ください。kca

## しんみなと 千葉新港営業所を開設しました

本年1月22日、千葉県千葉市美浜区に市内2拠点目、県内6拠点目となる「千葉新港営業所」を開設いたしました。千葉市の中心地から約2km、市内の主要国道に程近い好立地にあり、建築・土木ともに需要のある地域に位置することから、多様なニーズに対応する営業拠点として期待しています。

同営業所の開設のほか、当期は6月に広島営業所の開設を予定しています。 



### 千葉新港営業所


所在地：千葉県千葉市美浜区新港24番地1  
TEL：043-204-2002 FAX：043-245-0115

## 個人投資家向け説明会を積極的に実施していきます

当社ではこれまで、日本個人投資家協会（JAI）の会員大会をはじめ、「日経IRフェア」や「ノムラ資産管理フェア」に出展するなど、個人投資家向けのIR活動に注力してきました。今年度はそうしたIRイベントへの出展に加えて、個人投資家の方々に向けた独自の説明会を増加するなど、より積極的な活動を展開していきます。

その一環として、2月5日に大和証券札幌支店で、同月7日には三菱UFJ証券福岡支店で個人投資家向け会社説


明会を実施し、各説明会に参席いただいたそれぞれ約70名の個人投資家の方々に、「カナモト」についてご案内させていただきました。

今後も同様の会社説明会を実施していきますが、6月には神戸、広島での説明会を予定しております。開催の日時・場所は、随時、当社ホームページ <http://www.kanamoto.ne.jp> でお知らせしてまいります。 

## 道南地区の地場有力企業から事業を譲渡いただきました

1月19日に発表しましたとおり、当社は地場有力企業の株式会社テーオー小笠原（JASDAQ：9812 本社：北海道函館市）の子会社で、道南地区で建機レンタルを営む株式会社レンタルテーオー（本社：北海道北斗市）の事業譲渡を受け、2月1日付で営業権および同社所有のレンタル用資産を引き継ぎました。テーオー小笠原の組織力を活かしながら培ってきたノウハウやネットワークを引き継ぐことで、道南地区における当社建機レンタル事業の営業力強化、シェア

拡大を図ります。

今後増えるであろう北海道新幹線工事でも、今回の事業譲受による効果が現れるものと期待しています。 

### 事業譲渡とは

会社の事業の全部、または重要な一部を譲渡することです。株式買取や株式交換との違いは、契約時に引き継ぐ資産や負債を選択するため偶発債務を負わずに済むというメリットがあります。

## 株式会社九州建産を子会社化しました

レンタルテオー社の事業譲受に続き、カナモトグループの九州地区での事業深耕を目的に、2月7日付で当社アライアンスグループの1つ、株式会社九州建産(本社:福岡市東区)の株式を取得し、保有割合を50.1%として子会社化いたしました。九州建産は、福岡県を中心に23拠点を展開する建機レンタル会社です。

九州地区には九州建産のほか、鹿児島県に8拠点を展開する第一機械産業株式会社(本社:鹿児島県鹿屋市)

が当社の子会社として建機レンタル事業を営んでおり、それぞれ売上規模も上位にあることから、九州で「トップシェア」を獲得することも現実的なものになりつつあります。

今後も質の高いサービスを提供し、一層のシェア拡大を目指します。☒

\*文中の拠点数は2007年3月末日現在の数値です。

## 今年も「さっぽろ雪まつり」に協賛しました

札幌の冬の一大イベント、雪と氷の祭典「第58回さっぽろ雪まつり」が2月6日に開幕し、12日までの7日間にわたって開催されました。今年は暖冬の影響から参加者の方々が雪像作りに苦戦されましたが、開催時には見事な作品がずらり。来場者数は延べ210万人超となり、国内外から訪れた多くの観光客が立ち並ぶ大氷雪像に歓声を上げていました。全長15メートルのジンベエザメなど、迫力の大雪像2基が並ぶ大通4丁目の「よみうり広場」。こちらの大雪像裏のイベント関係者控室は当社のユニットハウスをお使いいただいたほか、カナモト坊やの行灯を設置して、行き交う人の足許を照らしました。

建設現場はもとより、こうしたイベントの裏方役を努めるのも当社の役割のひとつ。これからも皆様の身近な場所で「カナモト」をお目につけるよう積極的に活動していきます。☒



窓にカナモト坊やのシートを貼った当社のユニットハウスが、雪まつり会場のステージの出演者控入室に

## 「環境ビジネスマッチング2007」に出展しました

去る3月5日、SMBCコンサルティングの主催で、東京の新高輪プリンスホテル国際館で開催された、企業の社会的責任や経営戦略の策定においてもはや欠かすことのできない「環境」をキーワードにした企業のお見合い「環境ビジネスマッチング2007～withチームマイナス6%～」に



循環型リサイクル材「Eco eco system」でつくられた当社ブース

当社も出展いたしました。

当日は多分野にわたる511社もの企業が出展。日頃お取引する機会が少ない業種の方々と情報・意見を交換することができ、商品の導入や開発における多くのヒントをいただきました。今後も環境保全に向けた多角的な取り組みを続けていくとともに、BtoB(企業間)の交流を含めたさまざまなイベントへの出展を企画し、カナモトのビジネスの可能性を拡げていきます。☒

## カナモトサンクスフェア2007 今年も開催いたします!!

今年で5年目を迎えるカナモトの感謝祭、カナモトサンクスフェア。今年も、日頃のご愛顧と感謝の気持ちを込めて全国各地で開催中です。

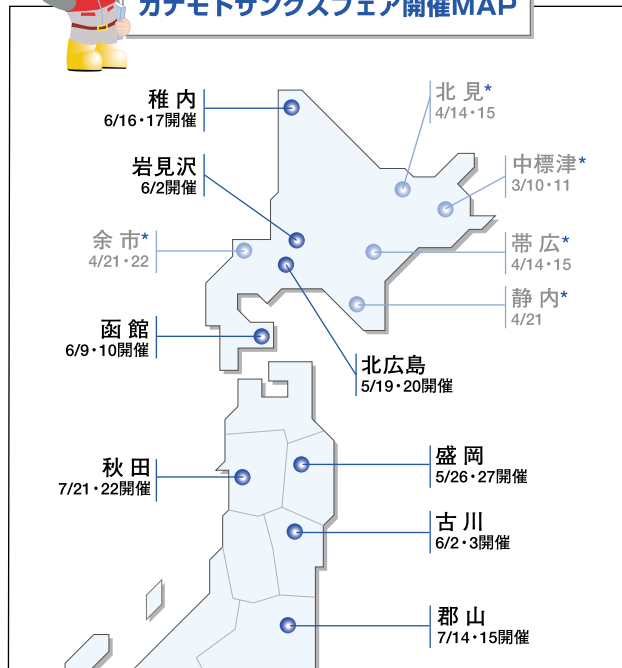
3月10・11日の中標津営業所(北海道地区)を皮切りに、北海道・東北とサンクスフェアを展開しています。

サンクスフェアでは、中古ハウスや中古建機などの販売のほか、開催地それぞれで趣向を凝らしたイベントなどをご用意して皆様のお越しをお待ちしております。普段は、なかなか乗ることができない高所作業車の試乗会やミニバックホーを使ったゲーム、各地の産地直送品の販売など目白押し。ご家族皆様で楽しめること間違いなしです。是非、一度お近くの「カナモト サンクスフェア2007」へ足をお運びいただき、「見て来て触れて」カナモトを体感してください。開催の日程、会場につきましては漸次、当社HP (<http://www.kanamoto.co.jp>)でご案内させていただきますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。☺

\*中標津、北見、帯広、静内、余市につきましては、おかげさまで盛況のうちに終了することができました



### カナモトサンクスフェア開催MAP



## 新入社員36名が入社しました



緊張の面持ちで、金本社長から辞令を受ける新入社員

「企業の財産はヒト、即ち人材であります。皆さんには、これからの人生の長丁場、楽しく仕事をし、かつその中で学びながら、カナモトにとって無くては

4月2日、当社本社ビルで2007年度入社式が開催され、36名の新卒者が入社いたしました。入社式では、社長の金本寛中が

ならぬ人材に成長してほしいと願って止みません」と訓示。これに対して、新入社員代表として足立営業所配属の吉田社員が「どんな困難にも屈することなく、1センチでも1ミリでも前進していこうという気概を持ち、新たな挑戦を始めます」と答辞いたしました。

式当日から4日間にわたって新人研修を受講した新入社員たち。今後は、配属された各営業所での実務を通じて着実に成長し、持てる力を発揮してくれることでしょう。カナモトに新しい風を吹き込む、若き「新戦力」にご期待ください。☺



## 上海金和源設備租賃有限公司の盛大な開業式が行われました

3月26日、上海花園飯店(オークラガーデンホテル)で、中国上海市に設立した合弁会社、上海金和源設備租賃有限公司(以下、上海金和源)の開業式を開催いたしました。当日は、中国と日本から約250名のご来賓の皆様にご臨席をいただき、盛大な開業式となりました。

### 上海市庁を表敬訪問

開業式に先立ち、当社社長の金本寛中、合併相手先の上海騰発建築工程の董事長・陳志峰以下、上海金和源関係者一同で、上海市庁を表敬訪問いたしました。お迎えいただいた上海市人民政府の朱曉明副主任(上海市ナンバー2の役職)から、「中国にはこれまでなかった新しいビジネススタイルであるレンタル業は中国にとって非常に重要な産業となるであろう。一日も早く拡大することを期待するとともに、貴社が大きく発展することを大いに望む。上海市としても協力を惜しまない」と、最大級のご祝辞を頂戴しました。これに対して当社金本社長からも「弊社としても中国の発展の一助となるよう協力をしていきたい」旨をお伝えし、終始友好的な会談となりました。なお、写真の貴賓室はテレビなどでも度々出てくる上海市の最上級の貴賓室で、中国経済に新風を吹き込むことになるであろうレンタル事業への期待の高さを垣間見ることができました。



写真向かって右は上海市・朱曉明副主任、左はカナモト社長で上海金和源董事長の金本寛中

### “雨降って地固まる” 幸先の良い開業式に



上海市黄浦区人民政府の郭芳副区長からご祝辞をいただきました

さて、遠く日本からはメーカー、銀行、商社、リース会社の各社様と当社グループ各社、また、中国からは上海騰発のお客様を中心にご臨席を賜った開業式ですが、受付をされるお客様の肩にはきらきらと光る雨粒。晴れていたのに突然のわか雨が降ったようです。日本では雨降って地固まるといいますが、まさに願ったりの幸運の雨になるだろうと感じられました。

式が始まり上海金和源の董事長も兼務する金本寛中から、来賓の皆様への謝辞を述べた後、金和源の母体である上海騰発、オリックス株式会社、そして当社について紹介。レンタルについて優れたビジネスシステムであることを説明させていただくとともに、

中国で経済合理性に優れたレンタルの普及を目指す旨、所信表明いたしました。

来賓挨拶は、日中両国を代表して、上海市黄浦区人民政府副区長の郭芳様と上海日本領事館領事の田中栄治様から、それぞれ、中国でのレンタルという新しいビジネスが今後、中国での発展に寄与することを期待する旨のご祝辞を頂戴いたしました。

### 盛況のうちに閉幕となった開業式



式典に「華」を添える中国獅子舞

この後、当事業の成功と発展を祈願して“驅邪と降福”を象徴する中国獅子舞の演舞が行われるなど、式典は終始和やかに進行。乾杯のご挨拶をオリックス株式会社の梶原副社長に、中締めのご挨拶を株式会社小松製作所の米山取締役専務執行役員に頂戴し、開業式は盛況のうちに終了いたしました。kca



上海金和源の役職員一同

## 第43期第1四半期財務・業績の概況 [2006(平成18)年11月1日から2007(平成19)年1月31日まで]

### 経営成績(連結)の進捗状況と業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
43期第1四半期	18,856 (7.7)	2,173 (68.4)	2,115 (70.9)	1,618 (410.0)	49.26
42期第1四半期	17,503 (△0.6)	1,290 (72.3)	1,237 (72.1)	317 (△20.3)	10.63
(参考)42期通期	68,023	4,068	3,788	1,742	57.41
(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。					
中間期(予想)	35,530	2,940	2,870	1,830	55.69
通期(予想)	68,570	4,230	4,020	2,360	71.82

### 第1四半期の業績結果

主力事業の建設関連事業は、全国的に民需確保の積極的な営業展開を行った結果、建機レンタルを中心に堅調に推移、また、海外の旺盛な需要を受けて中古機販売が続伸するなど、前年同期を上回りました。

鉄鋼製品販売事業は道央圏の民間設備投資の受注が順調だったこと、また、情報通信関連事業はPCレンタルが好調に推移し、総じて、全事業分野で前年同期を上回る順調な結果となりました。

一方、利益面では、前年に引き続きレンタル用資産の運用効率の向上と減価償却負担軽減などの施策効果から、営業利益、経常利益ともに前年同期実績を上回ったほか、

固定資産の売却に伴う売却益などの特別利益もあって、四半期純利益も前年同期を大幅に上回りました。

なお、固定資産売却益については、2006(平成18)年12月8日発表の2007(平成19)年10月期業績予想に織り込み済みです。

この結果、平成19(2007)年10月期第1四半期終了時点での連結売上高は188億56百万円(対前年同期比7.7%増)、営業利益は21億73百万円(同68.4%増)、経常利益は21億15百万円(同70.9%増)、四半期純利益は16億18百万円(同410.0%増)となりました。

### 特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況

当第1四半期における拠点の新設閉鎖は、1月に千葉新港(ちばしんみなと)営業所(千葉市美浜区)1ヵ所を新設したほか、閉鎖はありませんでした。

また、第2四半期に入ってからではありますが、前述のとおり、株式会社テーオー小笠原(代表取締役社長：小笠原康正氏 JASDAQ：9812 本社：北海道函館市)の子会社であり、道南地区で建機レンタル事業を営む株式会社レンタルテーオー(代表取締役社長：小笠原潔氏 本社：北海道

北斗市 資本金：30百万円)の営業権および同社所有のレンタル用資産を2月1日付で譲り受けたほか、従前より当社アライアンスグループに参画している株式会社九州建産(代表取締役社長：齋藤統氏 本社：福岡県福岡市東区)の発行済株式を2月7日付で追加取得して子会社化いたしました。なお、当社初の海外進出となる上海金和源設備租賃有限公司(邦文名称：上海金和源設備レンタル有限公司)は、2月から営業を開始しております。

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書

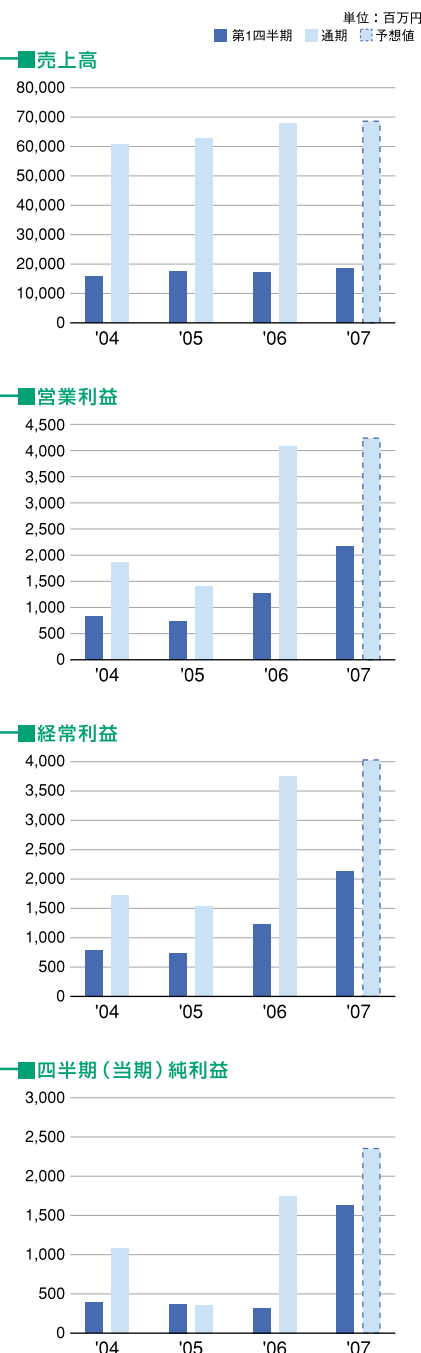
(単位:百万円)	第42期第1四半期 (2005.11.1~2006.1.31)	第43期第1四半期 (2006.11.1~2007.1.31)
① 売上高	17,503	18,856
売上原価	12,222	12,488
売上総利益	5,281	6,367
販売費及び一般管理費	3,990	4,194
② 営業利益	1,290	2,173
営業外収益	78	78
営業外費用	131	135
② 経常利益	1,237	2,115
特別利益	10	942
特別損失	353	63
税金等調整前四半期純利益	895	2,994
法人税、住民税及び事業税	581	1,320
法人税等調整額	△38	28
少数株主利益	34	28
② 四半期純利益	317	1,618

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第42期第1四半期 (2005.11.1~2006.1.31)	第43期第1四半期 (2006.11.1~2007.1.31)
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,776	2,018
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168	681
財務活動によるキャッシュ・フロー	993	△548
現金及び現金同等物の増加額	4,601	2,150
現金及び現金同等物の期首残高	14,108	18,398
現金及び現金同等物の期末残高	18,710	20,548

### Point

- 建設関連事業については、積極的な営業活動でレンタルの民需を確保したことに加えて、海外への中古機販売が続伸。また、鉄鋼製品販売事業は道央圏の民間設備投資を順調に受注し、情報通信関連事業においてはPCレンタルが好調に推移するなど、総じて堅調な成果を上げることができ、売上高は対前年同期比7.7%増となりました。
- 前年に引き続き、レンタル用資産の運用効率の向上と減価償却負担軽減などの施策効果から、営業利益が対前年同期比68.4%増、経常利益が同70.9%増となったほか、固定資産の売却に伴う売却益などの特別利益もあって、四半期純利益が同410.0%増となるなど、利益面においても前年同期を大幅に上回りました。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは20億18百万円（前年同期比17億58百万円減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が増加した一方で、仕入債務が減少したこと、法人税等の支払額が増加したことによるものです。





## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	第42期第1四半期 (2006.1.31)	第43期第1四半期 (2007.1.31)
(資産の部)		
流動資産	36,151	37,347
固定資産	50,721	52,265
有形固定資産	43,043	43,737
無形固定資産	647	497
投資その他の資産	7,030	8,030
資産合計	86,872	89,613
(負債の部)		
流動負債	30,197	28,450
固定負債	22,346	21,333
負債合計	52,543	49,783
(少数株主持分)		
少数株主持分	105	—
(資本の部)		
資本金	8,596	—
資本剰余金	9,720	—
利益剰余金	13,733	—
その他有価証券評価差額金	2,360	—
自己株式	△188	—
資本合計	34,222	—
負債・少数株主持分及び資本合計	86,872	—
(純資産の部)		
株主資本	—	36,861
資本金	—	9,696
資本剰余金	—	10,960
利益剰余金	—	16,212
自己株式	—	△8
評価・換算差額等	—	2,847
その他有価証券評価差額金	—	2,847
少数株主持分	—	120
純資産合計	—	39,829
負債純資産合計	—	89,613

## とってもいいモノ・読者プレゼント

ハガキをご返送いただいた方の中から抽選で、小誌P.10でご紹介する取扱商品のメーカーのノベルティグッズを差し上げます。

今回はCORMIDI社から、携帯ストラップと、これからの季節にぴったりのメンズ用ポロシャツ(Lサイズ)をセットで1名様に。ともに同社のロゴ入りで、「セルフローダー series65-80」と同じ鮮やかなオレンジ色です。加えて、カナモトからはゼブラ社製の当社オリジナル多機能ペン「Clip-on multi」(4色ボールペン+シャープペンシル)をプレゼント。こちらは30名様に差し上げます。

なお、ご応募の締め切りは5月25日(当日消印有効)です。



当選者の発表は、商品の発送をもって替えさせていただきます。



商品のご指定はできませんので、あらかじめご了承ください

## 連結株主資本等変動計算書 (2006.11.1~2007.1.31)

(単位:百万円)	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2006年10月31日残高	9,696	10,960	14,889	△6	35,540	2,418	2,418	92	38,051
四半期中の変動額									
剰余金の配当			△295		△295		—		△295
四半期純利益			1,618		1,618		—		1,618
自己株式の取得				△2	△2		—		△2
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)						429	429	28	457
四半期中の変動額合計	—	—	1,322	△2	1,320	429	429	28	1,777
2007年1月31日残高	9,696	10,960	16,212	△8	36,861	2,847	2,847	120	39,829

株主の皆様からカナモトに寄せられたご質問をご紹介します、誌上でお答えしています。

**Q** 金利上昇の影響はありますか？

**A** 長期的に上昇し続けるのであれば、多少なりとも影響は出てくると考えておりますが、しかし、当社では長期固定金利を採用しているため、現時点では極めて軽微な影響にとどまると予測しております。☒

**Q** カナモトは、敵対的買収を行うつもりはあるのでしょうか？

**A** 近年、敵対的買収が散見されますが、多大な労力を使う割には成功例が決して多くありません。同じ労力を要するのであれば、カナモトでは友好的なM&Aが効果的、かつ持続可能な戦略であると考えております。☒

**Q** リース会計や減価償却などの会計制度の変更はカナモトにも影響があるのでしょうか？

**A** カナモトの主力事業である建機レンタルが、大量の償却資産やリース資産を保有するものであることはご存知のとおりです。そのため、今回のリース会計、減価償却などの会計制度変更は当社にも影響があります。現在は公表されている内容に沿って試算を行っている段階ですが、制度そのものについて確認しなければならない点もあり、関係機関と検討を重ねている最中です。☒

### Lineup 取扱商品のご紹介

今回の取扱商品紹介コーナーでは、狭いスペースでも“小回り”の利く不整備運搬車「セルフローダー-series65-80」をご紹介します。

#### セルフローダー-series65-80

イタリア製ならではの洗練されたデザインが印象的なCORMIDI社の不整地運搬車「セルフローダー-series65-80」。高性能な日本製のエンジンを搭載しているうえ、悪路での走破性が高いクローラー式の足回りと、セルフローダー式（荷台傾斜式）の荷台を採用したコンパクトボディは、密集地域や路地などの狭小スペースでも走行・旋回が自由自在に行えます。また、各種レバーやスイッチ類を運転席まわりに集中配置しているため操作性も抜群。土砂や雪を効率的に積み込み、現場でのスピーディな運搬を実現します。

ちなみに「クローラー」とは、別名をキャタピラーと

いい、英語で“芋虫”のこと。带状につなが合わせた鋼板の輪を前後の駆動輪にかけ渡し、回転させて走行する装置のことで、ブルドーザーやトラクターにも用いられます。

タイヤよりも接地面積が大きく、未舗装の悪路でも優れた安定性を発揮するクローラーには、全身を使って着実に前へ進む芋虫のような力強さがあります。☒



## 株価チャート(週足)



## 株価および売買高(東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2006年 4月	856	925	856	925	1,693
5月	924	1,002	905	977	2,168
6月	969	1,091	920	1,081	2,884
7月	1,076	1,147	990	1,100	2,648
8月	1,110	1,130	1,042	1,064	1,040
9月	1,053	1,062	863	887	3,617
10月	890	890	820	846	2,473
11月	833	852	700	829	1,609
12月	819	875	811	843	995
2007年 1月	848	920	848	915	1,436
2月	923	996	905	958	2,009
3月	959	1,029	945	1,024	2,111

## 役員一覧(2007年1月31日現在)

### ●取締役

代表取締役社長	金本 寛中 *	取締役執行役員 経理部長	卯辰 伸人 *
取締役執行役員 営業統括本部長・レンタル事業部長	金本 哲男 *	取締役執行役員・業務部長・ (株)カナテック代表取締役社長兼務	成田 仁志 *
取締役執行役員 特販事業部長	平田 政一 *	取締役執行役員 情報機器事業部長・事業開発部長	北方 敬一 *
取締役執行役員 総務部長・社長室長	磯野 浩之 *	取締役執行役員 レンタル事業部北海道地区統括部長	金本 龍男 *
取締役執行役員 レンタル事業部東北地区統括部長	長崎 学 *	取締役・ (株)カンキ代表取締役社長兼務	佐藤 幸夫
取締役	川村 雄一	取締役	袴田美智也

### ●監査役

常勤監査役	奥村 敏三	常勤監査役	澤田 紳六
常勤監査役	金本 栄中	監査役	橋本 昭夫
監査役	辻 清宏	監査役	鎌田 信知

### ●執行役員


情報システム部長	熊谷 浩	債権管理部長	麻野 裕一
レンタル事業部関東信越地区統括部長	問谷 悟	海外事業室長	椋梨 直樹

(注1) \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。(注2) 川村雄一氏及び袴田美智也氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
(注3) 監査役の橋本昭夫氏及び辻清宏氏及び鎌田信知氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 編集後記

上海金和源の開業式に行っていました。日本との時差は僅かに1時間。さぞ、彼の地はまったく別の時空のようでした。排気ガスと黄砂に霞む中心部の摩天楼は、映画に出てくる近未来の街のよう。さながら銀河鉄道の線路のような高い橋桁の高速道を、中国の成長の速さを誇示するかのように、猛スピードで自動車が駆け抜けていきます。何もかもがデカくて、奇抜なデザインばかりのビル。鳴り止まないクラクションの嵐、歩行者よりも自動車重視の交通事情、ブティック街を闊歩する女性達の姿。発展途上の溢れる力に圧倒されました。

そんな上海も1時間も車を走らせないうちに、遥か50年前に時間が止まったかのような中国の原風景が現れます。そこで、中古建機のブローカーを訪ねました。恐ろしく古い中国製のスクラップ寸前の建機が並んでいました。修復して中国奥地の業者に販売するのだそう。ちゃんと動くのかどうか信憑性の欠片もないのですが、そこに人の生活がありました。海外部品をアセンブルし組み上げて中国製建機として国内外に販売する起業家もあれば、古いままの人もいます。

整然ではなく極めて猥雑な街、上海の風景は、いつしか、カナモトが活躍する場所はそこここにあるという「確信」に変わりました。行け!カナモトマン! 



(東証一部・札証 証券コード: 9678)  
〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19  
Tel : (011) 209-1600 (大代表)  
<http://www.kanamoto.co.jp>

## 株主の皆様へ 株券の電子化についてのお知らせ

株券の取引等がより安全かつ迅速に行われることを目的として、2004年6月に「株券の電子化」に関する法律が公布されました。これにより、上場会社の株券は2009年6月までに電子化されます(具体的な実施日は政令で決定されます)。「株券の電子化」の詳細につきましては、日本証券業協会 証券決済制度改革推進センターまでお問い合わせください。

### お問い合わせ先

証券受渡・決済制度改革懇談会事務局 TEL. 03-3667-4500 ホームページ <http://www.kessaicenter.com/>

## 株主メモ (2007年1月31日現在)

資 本 金 96億9,671万円(払込済資本金)

発 行 株 数 32,872千株(発行済株式総数)

決 算 期 毎年10月31日(年1回)

株 主 総 会 毎年 1月中

同総会議決権行使株主確定日 毎年 10月 31日

利益配当金受領株主確定日 毎年 10月 31日

中間配当金受領株主確定日 毎年 4月 30日

公 告 の 掲 載 当社ホームページ、日本経済新聞\*

お手持ちの株券に関するお手続きのほか、住所、名義、届出印、配当金の振込み口座などの変更をご希望の場合は、下記<株主名簿管理人>宛てにご連絡をいただきたく、お願いいたします。

なお、株券を証券会社に預託されている場合は、当該証券会社へご連絡下さいますようお願い致します。

株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社

郵 便 物 送 付 先 〒171-8508  
お よ び 電 話 照 会 先 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

\* 当社公告の掲載につきましては、当社ホームページ (<http://www.kanamoto.co.jp> または <http://www.kanamoto.ne.jp>) に掲載いたします。  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。